

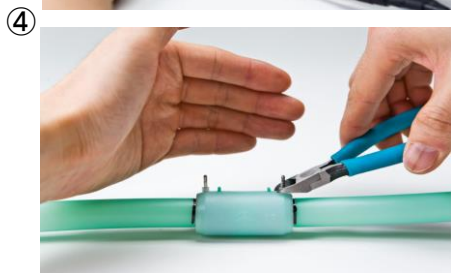
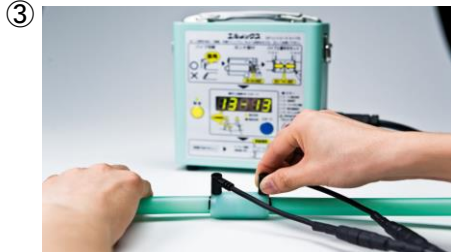
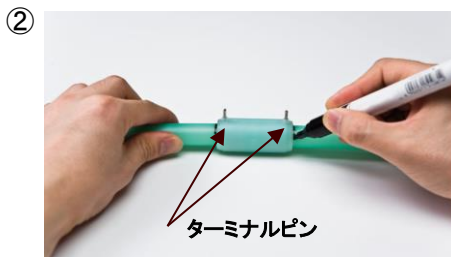
設備工事情報シート	衛生	I-P-3-改 ₄	制定	2004年4月1日
			改訂	2019年3月1日
施工要領	架橋ポリエチレン管(先分岐工法)		三井化学産資編	

1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用される樹脂管（架橋ポリエチレン管およびポリブテン管）の施工方法には、さや管ヘッダー工法および先分岐工法がある。その施工要領および使用部材はメーカーごとに異なるため、認識不足による不具合を防止するには、施工前に採用メーカーの接続方法を確認する必要がある。以下に、三井化学産資(株)／架橋ポリエチレン管／先分岐工法の施工要領および施工のポイントを示す。

2. 電気融着接合手順

- パイプと継手の接合には、専用のコントローラ（電気融着器）と、専用かんなを使用すること。
- パイプはエルメックス[®]パイプ、継手はエルメックス[®]継手のみを使用し、他の架橋ポリエチレン管やポリブテン管およびポリブテン管継手とは、絶対に接合しないようにすること。



- ①パイプを切断し、かんな掛けをする。
 - 管に付着した汚れをとるため、あらかじめ差し込み部分の表皮を専用かんなで削り取ること。
- ②パイプを継手のストッパーに当たるまで、真直ぐに差し込み、サインペンでマーキングをする。
 - かんな掛けした部分が1～3mm出ていること。
- ③コネクタをターミナルピンに接続し、スタートボタンを押す。
 - 継手の口径と、コントローラの口径表示が一致していることを確認すること。
- ④約20秒～60秒で融着は終了する。冷却後、ニッパーでターミナルピンを根元から切断する。
 - 終了後、3分間以上は静置冷却すること。
 - インジケータが、継手表面から出ているのを確認すること。

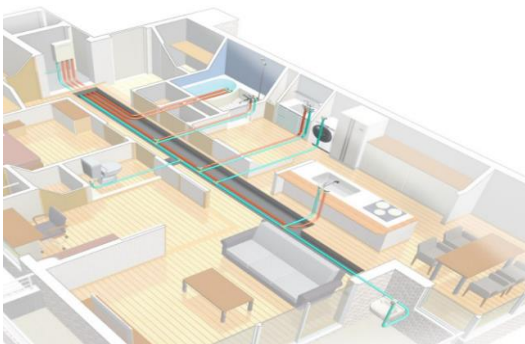
3. 電気融着接合上の注意点

電気融着を行う際は、油や汚れに注意が必要なため、下記の点に十分注意して作業を行うこと。

- ①粉塵が舞う環境下で作業をしないこと。
- ②かんな掛けは必ず実行すること。
- ③かんな掛けは1回限りとすること。
- ④かんな掛けした個所を触らないこと。
- ⑤かんな掛け後は、パイプを床に置かないこと。
- ⑥かんな掛けは、融着直前に行うこと。

4. 融着作業後の確認要領

- ①インジケータが継手の表面から出ていること。
- ②マーキングがされており、位置にズレがないこと。
- ③継手のパイプ挿入口に樹脂漏れがないこと。
- ④コントローラが正常終了していること。



エルメックス[®]分岐配管の基本システム

注:この情報シートは日建連の基準、規格ではありません

資 料

5. 製品例

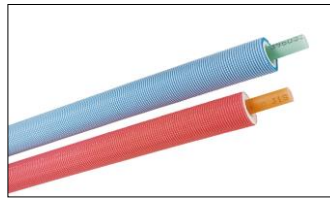
エルメックス®パイプ



金属継手（オネジソケット）（座付メネジエルボ）



保温材付きパイプ



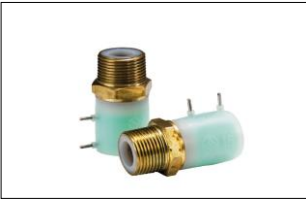
樹脂継手（チーズ）

【工具類】

専用コントローラ



専用かん



6. 給水給湯管水圧試験基準

試験圧力：標準1.0MPa（水道直結の場合は1.75MPa）

保持時間：60分以上

判 定：1時間後の圧力が初期試験圧力の75%以上であることを確認すること。
但し環境温度によって、数%の変動があるので、実際の現場ごとに予備試験を実施して合格圧力を決定すること。

7. 使用温度と最高使用圧力（PN15）

JIS K 6789による

使用温度 ℃	0～20	21～40	41～60	61～70	71～80	81～90	91～95
最高使用圧力MPa	1.50	1.25	0.95	0.85	0.75	0.70	0.65

8. 施工指導

工事実施に当たっては、正式のマニュアルを参照して作業を行い、また必ず下記メーカー、及びメーカー代理店の施工指導員の施工指導を受講し、受講修了証を受け取ること。

●施工の詳細については、必ず下記メーカーのカタログ・マニュアル等を参照すること。

9. その他

電源が確保できない現場での作業では発電機やモバイル電源を使用すること。

（推奨機種はメーカーにお問い合わせください。）

10. お問い合わせ先

三井化学産資株式会社

本社 管材事業部 エルメックス部

〒113-0034 東京都文京区湯島3-39-10 上野THビル

TEL:03-3837-0352 FAX:03-3837-1585

大阪支店 管材グループ

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-11-7 信濃三井ビル

TEL:06-6446-3634 FAX:06-6446-3649

福岡支店

〒810-0001 福岡市中央天神2-14-13 天神三井ビル

TEL:092-752-0766 FAX:092-752-0769

顧客サービス 大竹事業所 管材開発部

〒739-0601 広島県大竹市東栄2-1-21

TEL:0827-53-9186 FAX:0827-53-8884

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-1がみや第一ビル

TEL:011-281-5091 FAX:011-281-5093

受講修了証の例



注：この情報シートは日建連の基準、規格ではありません